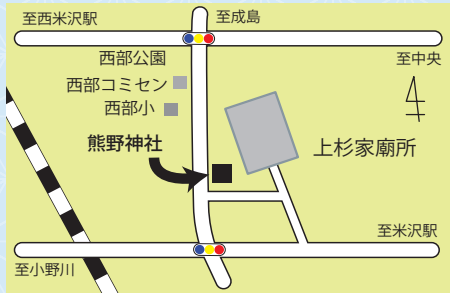


# 歴史探訪

## 第10回

### くまのじんじゃ 熊野神社 (御廟一丁目)



毎年、大きな櫓を中心に盛大に盆踊りが行われます。

今回は、御廟一丁目の熊野神社を訪ねてみました。

米沢藩主上杉家墓所(御廟所)の西隣に鎮座し、近辺9町の鎮守として信仰され、8月には盛大な盆踊りが開催されます。

### 浅井権太夫の創建と 長者伝説

熊野神社の歴史は古く、今から約525年前の延徳年間(1489~1492)の創建と伝えられています。その頃、この地には浅井権太夫という大富豪が屋敷を構えていました。権太夫は紀州那智の熊野権現を深く信仰し、紀州参拜の際に分霊を受け、当初は遠山の赤坂に仮宮を建てました。その後、自分の屋敷内に立派な社殿を造営し、近郷の鎮守として篤く信仰されました。

なお、江戸時代に御廟所が設けられる以前は、この地は吹屋敷村の一部でした。吹屋敷の地名は、伊達時代に武器庫があったことに由来する説と、長者浅井の屋敷(富貴屋敷)があったことに由来するとも言われています。

また、権太夫が生前に、黄金・朱・漆の財宝を壺に入れ、密かに埋め、その場所を示す歌「行は五里、帰れば七里、朝日さす、夕日に輝く木の下にあり」を残したというお宝伝説も残っています。

本殿内に残る棟札によると、宝暦元年(1751)に長床を造営し、安政2年(1855)に再建されています。現在の社殿でしょうか。また、拝殿内には地区の有力者であった皆川文四郎が宝暦9年に奉納した、熊野権現参詣を描いた大きな絵馬が掲げてあります。

### 祭礼と盆踊り

熊野神社の例大祭は7月7日で、6日の前夜祭には神輿渡御と地区小学生による巫女舞が奉納されます。

8月には15日・16日・20日の3日間、盛大に盆踊りが開催され、地域の夏の風物詩として親しまれています。社殿の前に大きな櫓(写真左)が細木で組み立てられ、奉替者の名前を記した「ぼんぼり」が灯されます。その周囲を、太鼓や盆踊り歌にあわせて踊ります。参加賞の他、踊りの上手な人には賞品が配られるのも魅力の一つで、地区の人はもちろん遠方からの参加も見られるようです。



### 目指せ！無限大の可能性

米沢で元気に活動する若手起業家3人。この日はそれぞれの自慢の品を持って、植松さんのカフェに集まっていただきました。夢を語る3人のはじめるような笑顔を見ると、こちらまで元気に。これからもそのチャレンジ精神で思いを形にしていってくださいね。(7月14日撮影)



表紙  
紙説